



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東
 ヨンズ株式会社
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,462	△0.3	35	326.0	△17	—	△35	—
26年3月期第2四半期	3,473	3.7	8	△80.7	△31	—	△53	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △7百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.49	—
26年3月期第2四半期	△2.97	—

(注) 当社は平成25年12月6日付でライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,625	4,416	42.0
26年3月期	10,035	4,460	40.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,039百万円 26年3月期 4,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.40	1.40
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	1.1	100	△60.9	20	△88.0	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	23,484,226株	26年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	350株	26年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	23,484,081株	26年3月期2Q	18,145,702株

(注) 当社は平成25年12月6日付でライツ・オファリング (ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て) に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オファリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度の期首に当該ライツ・オファリングに基づく払込が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 5
4. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまでの政府・日銀による経済・金融政策実施の効果や米国を中心とした世界経済の底堅さを背景に、総じて緩やかな景気回復基調で推移いたしましたが、足許では輸入物価の上昇を背景とした国内物価の上昇圧力、夏場における天候不順の影響や欧州の景気見通しの悪化などを背景に先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高3,462百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益35百万円(前年同期比326.0%増)、経常損失17百万円(前年同期比13百万円損失減)、四半期純損失35百万円(前年同期比18百万円損失減)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、書店店頭販売減少の影響があったものの、広告収入や電子書籍販売が引き続き好調で、計画的な刊行を実施したこともあり、売上高1,198百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)116百万円(前年同期比42.0%増)と増収増益になりました。

コーポレートサービス事業におきましては、消費税引き上げに伴う受注反動減の影響や外資系クライアントからの引き合いが第2四半期連結会計期間の前半において弱含みで推移したこと、及び新規先開拓のための先行投資費用の計上などにより、売上高382百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント利益(営業利益)41百万円(前年同期比24.8%減)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォンコンテンツ・メディア事業が引き続き順調に拡大する中で、第1四半期連結会計期間において事業環境相応の先行投資も並行的に行ったことなどにより、売上高750百万円(前年同期比20.7%増)、セグメント損失(営業損失)6百万円(前年同期比51百万円損失減)となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、店舗内装工事の実施やPC入替など、引き続き競争力向上のための諸施策を実施したことなどから、売上高612百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益(営業利益)10百万円(前年同期比64.9%減)となりました。

教育・人材事業におきましては、IT・医療人材紹介事業及び研修事業が引き続き好調に推移したものの、利益率の高いサーバ製品の受注が弱含みで推移したことなどにより、売上高483百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント損失(営業損失)11百万円(前年同期はセグメント利益5百万円)となりました。

投資運用事業におきましては、前年度にあった大口債券償還の反動減などにより、売上高35百万円(前年同期比74.6%減)、セグメント利益(営業利益)は17百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、営業投資有価証券113百万円増加、現金及び預金406百万円減少、並びに受取手形及び売掛金232百万円減少を主因に、前連結会計年度末比410百万円減の9,625百万円となりました。負債については、有利子負債310百万円減少及び買掛金74百万円減少を主因に、前連結会計年度末比365百万円減の5,209百万円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金38百万円増加、利益剰余金67百万円減少、及び少数株主持分14百万円減少を主因に、前連結会計年度末比44百万円減の4,416百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,725百万円と前連結会計年度末比366百万円の減少(前年同期は124百万円の減少)となりました。

営業活動の結果得られた資金は52百万円(前年同期比58.1%減)となりました。収入の主な内訳は売上債権の減少232百万円であり、支出の主な内訳はたな卸資産の増加98百万円及び仕入債務の減少74百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は47百万円(前年同期比59.9%減)となりました。収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入7百万円であり、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出34百万円及び定期預金の預入による支出10百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は373百万円(前年同期比180.8%増)となりました。収入の主な内訳は社債の発行による収入284百万円及び長期借入れによる収入150百万円であり、支出の主な内訳は社債の償還による支出589百万円及び長期借入金の返済による支出121百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月29日付で開示いたしました「当社子会社の第2四半期連結累計期間の業績予想値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容のとおり、教育・人材事業をおこなう子会社において連結業績予想が修正されたこと、および出版事業において、今後進行する電子化への対応の一層の前倒しを検討しており、倉庫の効率化やそれに伴う在庫水準の圧縮などを見込んでいることから、営業利益、経常利益及び当期純利益につきまして、平成26年5月9日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

スマートフォンやオンラインゲームコンテンツの開発・マーケティング投資も継続して行い、今後の収益拡大への基盤増強を図っていく所存です。(本修正内容は、平成26年10月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」として公表済みです。)

■平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	270	200	100	4.26
今回発表予想(B)	7,500	100	20	0	0.00
増減額(B-A)	0	△170	△180	△100	—
増減率(%)	0.0	△63.0	△90.0	△100.0	—
(ご参考)前期連結実績 (平成26年3月期)	7,419	255	166	64	3.39

業績予想の状況に関する注記

当社は平成25年12月6日付でライツ・オフリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）に基づく新株予約権の株主割当てを行い、当該新株予約権の払込が完了しております。ライツ・オフリングに基づく払込金額は時価よりも低いため、前連結会計年度（平成26年3月期）の期首に当該ライツ・オフリングに基づく払込が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化などにより、上記業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,310	2,903
受取手形及び売掛金	1,654	1,422
有価証券	20	20
営業投資有価証券	741	854
商品及び製品	1,009	1,055
仕掛品	91	141
原材料及び貯蔵品	19	21
繰延税金資産	84	27
その他	105	112
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,037	6,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618	1,626
減価償却累計額	△805	△833
建物及び構築物(純額)	812	792
土地	1,089	1,089
その他	946	926
減価償却累計額	△829	△822
その他(純額)	116	104
有形固定資産合計	2,018	1,987
無形固定資産		
その他	46	43
無形固定資産合計	46	43
投資その他の資産		
投資有価証券	208	221
敷金及び保証金	412	412
繰延税金資産	171	208
その他	148	198
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	933	1,034
固定資産合計	2,998	3,064
資産合計	10,035	9,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	378
1年内償還予定の社債	874	647
短期借入金	908	863
未払法人税等	61	18
賞与引当金	36	39
返品調整引当金	128	119
その他	505	549
流動負債合計	2,967	2,616
固定負債		
社債	1,286	1,224
長期借入金	888	912
役員退職慰労引当金	73	75
退職給付に係る負債	245	255
資産除去債務	30	30
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	74	86
固定負債合計	2,608	2,592
負債合計	5,575	5,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	564	496
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,952	3,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	139
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	116	155
新株予約権	4	4
少数株主持分	386	371
純資産合計	4,460	4,416
負債純資産合計	10,035	9,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,473	3,462
売上原価	2,242	2,104
売上総利益	1,230	1,358
返品調整引当金戻入額	34	9
差引売上総利益	1,265	1,367
販売費及び一般管理費	1,257	1,331
営業利益	8	35
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	8	-
負ののれん償却額	0	-
その他	5	4
営業外収益合計	17	5
営業外費用		
支払利息	25	22
社債発行費	10	15
支払保証料	10	7
その他	9	14
営業外費用合計	56	59
経常損失(△)	△31	△17
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	0	0
持分変動利益	-	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△30	△21
法人税、住民税及び事業税	13	13
法人税等調整額	6	11
法人税等合計	20	24
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50	△45
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	△10
四半期純損失(△)	△53	△35

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50	△45
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△33	38
その他の包括利益合計	△33	38
四半期包括利益	△83	△7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86	3
少数株主に係る四半期包括利益	3	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△30	△21
減価償却費	68	68
長期前払費用償却額	7	6
固定資産除却損	0	3
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	0	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	-
のれん償却額	3	-
負ののれん償却額	△0	-
社債発行費	10	15
新株予約権戻入益	△0	△0
持分変動損益(△は益)	-	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	3
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△34	△9
受取利息及び受取配当金	△2	△1
支払利息	25	22
為替差損益(△は益)	1	6
売上債権の増減額(△は増加)	287	232
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144	△98
仕入債務の増減額(△は減少)	26	△74
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△6	△74
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3	17
未収消費税等の増減額(△は増加)	7	0
その他	△57	17
小計	153	126
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△26	△22
法人税等の支払額	△15	△54
法人税等の還付額	12	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	125	52

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△10
有形固定資産の取得による支出	△103	△34
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△28	-
投資有価証券の売却による収入	13	7
無形固定資産の取得による支出	△9	△6
無形固定資産の売却による収入	-	1
長期前払費用の取得による支出	△1	△5
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△1
敷金及び保証金の回収による収入	9	1
預り保証金の受入による収入	1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	70	△57
長期借入れによる収入	420	150
長期借入金の返済による支出	△352	△121
社債の発行による収入	239	284
社債の償還による支出	△477	△589
リース債務の返済による支出	△1	△2
新株予約権行使による収入	-	0
配当金の支払額	△31	△32
少数株主への配当金の支払額	-	△3
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△124	△366
現金及び現金同等物の期首残高	2,533	3,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,409	2,725

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,148	408	621	643	510	140	3,473	—	3,473
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	0	47	—	8	—	81	△81	—
計	1,173	408	668	643	519	140	3,554	△81	3,473
セグメント利益又はセグメント損失(△)	81	55	△57	30	5	19	134	△125	8

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△125百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△147百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,198	382	750	612	483	35	3,462	—	3,462
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	2	37	—	5	—	70	△70	—
計	1,224	384	788	612	489	35	3,533	△70	3,462
セグメント利益又はセグメント損失(△)	116	41	△6	10	△11	17	168	△132	35

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△132百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△154百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「有価証券投資事業」について量的な重要性が増したため、事業名称を「投資運用事業」と変更した上で、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。